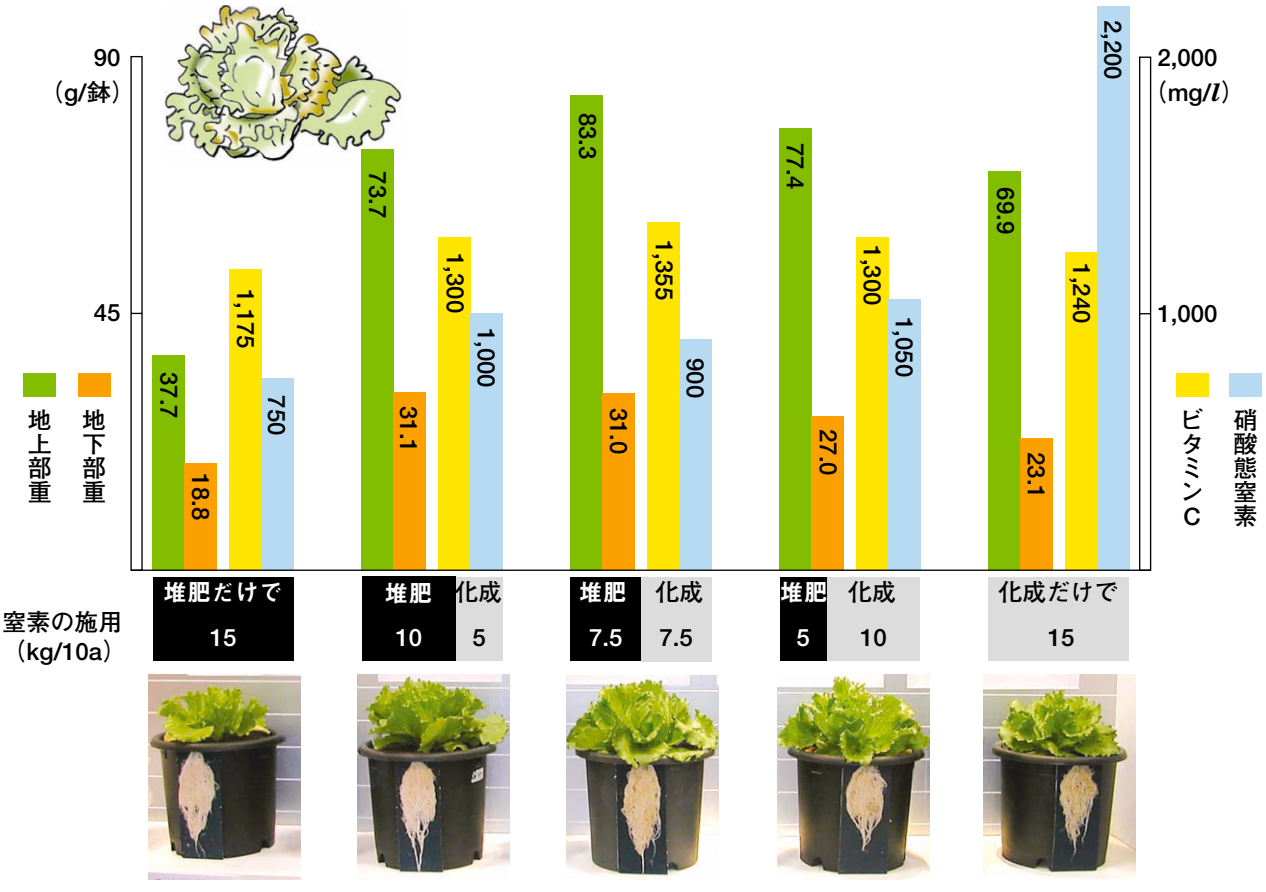
8 堆肥のよさを活かす、効果的な使い方

■ 堆肥と化学肥料の組み合わせ方

下のグラフと写真は、牛糞堆肥と化学肥料の割合を変えて、レタスの収量・品質がどう変わるかを試験したものです。窒素施用量はすべての区が 10 a 当たり 15kg です。左から、1 区は堆肥だけで 15kg、2 区は堆肥で 10kg ＋化成肥料で 5kg（堆肥 2 ：化成肥料 1）、3 区は堆肥で 7.5kg ＋化成肥料で 7.5kg（1 ： 1）、4 区は堆肥で 5kg ＋化成肥料で 10kg（1 ： 2）、5 区は化成肥料だけで 15kg としました。リン酸・カリは化成肥料で 15kg ずつです。

その結果は、堆肥だけの区は葉（地上部）・根（地下部）ともに生育が劣り、化学肥料だけの区は根の発達が悪くなっています。レタスの品質は、ビタミン C が多く、硝酸態窒素が少ないほうが優れますが、品質と収量（地上部）を総合してみると、3 区の堆肥 1 ：化成肥料 1、2 区の堆肥 2 ：化成肥料 1 がバランスがとれています。この傾向は、コマツナの試験でも同じでした。この組み合わせが堆肥施用量を決めるひとつのめやすです。

堆肥と化学肥料の組み合わせを変えてレタスの収量・品質比べ